

水田跡の区画面積の時代的変遷

—「群馬県水田跡一覧表」の更新—

齊 藤 英 敏

群馬県教育委員会 文化財保護課

- | | |
|-------------------|-----------------|
| 1. はじめに | 3. 一区画面積の時代的な変遷 |
| 2. 県内水田跡の時代ごとの遺跡数 | 4. まとめ |

— 要 旨 —

本稿は、群馬県内で発掘・報告された古墳時代から近世にかけての水田跡について、これまでの調査研究をもとに、発掘調査が始まった1960年代から2016年3月までの各報告書や『年報』（公益社団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団）で確認できた水田跡の総数を調査し、その時代毎の水田跡の平均面積等を一覧表にしたものである。データ総数は809遺跡であるが、今回報告するのは、その中で一区画当たりの平均面積がわかる209遺跡である。

縄文時代晩期に日本に伝来したとされる水田稲作であるが、水田跡の形態に関する研究・評価は、この20年ほどあまり進展していない。それは、日本では登呂遺跡（静岡県）や板付遺跡（福岡県）のような大区画水田と、1980年前後から全国的に検出されてきた小区画水田の二つの形態があり、水田稲作伝来以来、地形の傾斜・土地の所有関係・稲作技術等の条件の違いにより、この二つの形態の水田が併用されているという、発掘調査成果に基づいた抑制的な理解から抜け出せていないからである。

このような理解に対し筆者は、大陸から伝来した水田稲作は小区画水田の技術のみであり、古墳中期の犁・馬鋤を伴う牛馬耕伝来・普及により、縦横の小畦畔が不要となった小区画水田が、大区画水田（条里以後の圃場整備された水田）に変化していくことを指摘してきた（齊藤1998他）。

このような状況の下、日本における水田跡の発掘・調査・研究の中心の一つである本県の水田跡をまとめることは、今後の日本及び韓国・中国を含めた東アジアの水田稲作研究や農業技術史研究に大きな役割を果たすことができると考え、今回、改めて県内水田跡一覧をまとめたものである。

キーワード

対象時代 弥生～近世

対象地域 群馬県

研究対象 小区画水田・大区画水田・牛馬耕

1. はじめに

群馬県で水田跡というと、1970年代後半に報告された高崎市の日高遺跡、御布呂遺跡、芦田貝戸遺跡等が有名である。しかし、実は、渋川市赤城町(旧赤城村)の宮田遺跡で、1961(昭和36)年に6世紀のHr-FP(榛名山ニッ岳降下軽石)下の極小区画水田の畦畔が検出されている。

それから、半世紀以上が経過しているが、1979年以降に報告された水田跡の数は、2016年3月現在で、809遺跡を数える。他県の水田跡数は把握していないが、この数量は日本一を超越して、世界一の遺跡数であることは間違いないだろう。

この半世紀における全国的な調査で、小区画水田は群馬県特有のものではないこと、且つ静岡県登呂遺跡にも小区画水田があったことがわかってきた(松田他1991、岡村2008)。現在では、弥生から古墳時代の水田跡は、全国的にそのすべてが小区画水田であり、時代的な所産であると考えざるを得ないようになってきている。

さらに、お隣の韓国においても、紀元前の小区画水田が検出されており、水田跡研究は、国内で検出される小区画水田はもとより、韓国・中国を視野に入れて、東アジア全体で、考え直さなければならなくなっているのである(田崎2002、庄田2009)。

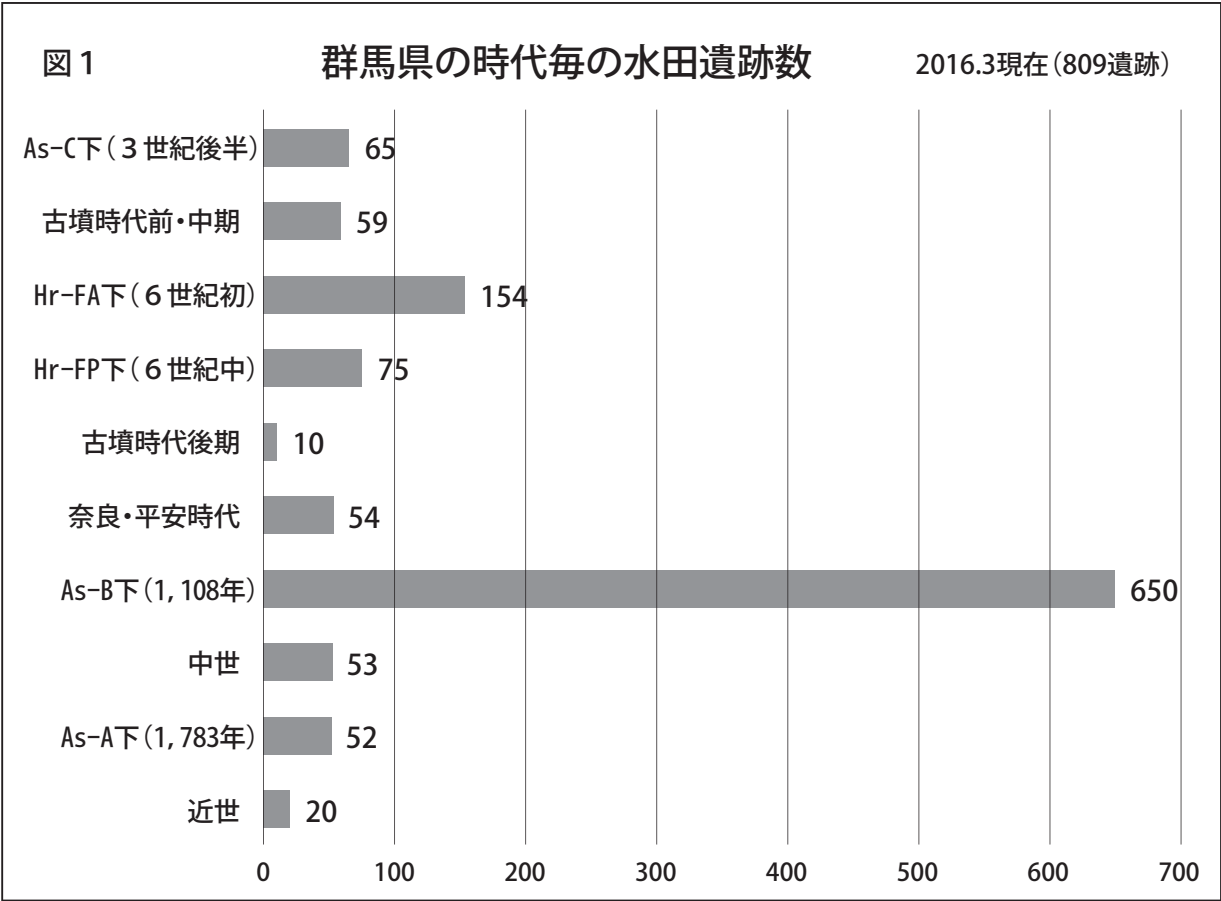
このような現状の中で、15年前に筆者が作成した「群馬県水田跡一覧表」(齊藤2002②)を更新することが、今回の目的である。県内において、この15年間に数多くの水田跡が調査・報告されており、それらを追加し、最新データを提供することは、大きな意義があろう。

なお用語についてであるが、小区画水田^{注1}は、水田稲作伝来以来、全国的にみられる小区画・極小区画の総称とする。さらに極小区画は、水田区画一枚が、概ね十平米以下に規格化された古墳時代中・後期の小区画とする。また、大区画水田は、奈良・平安時代から近世までの条里型水田以降の圃場整備された水田を指し、平均面積がほぼ100㎡以上となる水田跡のこととする。

2. 県内水田跡の時代ごとの遺跡数

筆者は、2002年にも「群馬県の水田跡一覧表」をまとめた。しかし、それから15年ほどが経過し、県内の水田跡数もかなり増加したことから、今回、その増補版を作成した。

2002年当時の水田跡総数は574遺跡であったが、今回は809遺跡となった。県内水田跡は、約15年間で235遺跡増加したことになる。1年平均にすると、約15～16カ所の水田跡が発掘調査されている計算である。大規模開



発が少なくなったとは言え、毎年、多くの水田跡が調査されていることがわかる。

図1は、今回の一覧表から作成した、群馬県における各時代の水田跡数をグラフにしたものである。やはり、1108(天仁元)年のAs-B(浅間山B軽石)下から検出された水田跡が650遺跡を数え、圧倒的に多いことがわかる。これは、1108年の浅間山の軽石が多量に降下したため、水田跡の遺存状況が良好であることによる。その次は、Hr-FA(榛名二ツ岳火山灰)下水田の154遺跡、Hr-FP(榛名二ツ岳軽石)下水田の75遺跡とつづく。この3時代の水田跡に、AD300年頃に降下したAs-C(浅間山C軽石)下水田、1783(天明3)年のAs-A(浅間山A軽石)下水田を含めた、5つの時代の水田跡は、テフラ層下から検出されるため、群馬県平野部から数多く検出されている。改めて言うことでもないが、これら5時期の水田跡は、それぞれ同じテフラ層下から検出された水田跡であるから、埋没時期・季節が全く同じなのであり、そのデータの価値は極めて高いと言える。

一方、テフラ層下の水田跡だけではなく、洪水層下からの検出も増加している。洪水層下の水田跡は、古墳時代前・中期、古墳時代後期、奈良・平安時代、中世、近世と5時期に分類した。これら洪水層下の水田跡は、厳

密に言えば、同じ時期(年月日)の埋没ではない。同じ河川流域であれば、同じ時期に埋没した可能性も高くなるが、それぞれ異なる河川流域にまたがっており、多少の埋没時期のズレを考慮しておく必要がある。

ここでは、群馬県では、すでに800カ所以上の水田跡が調査報告されていることを強調しておきたい。

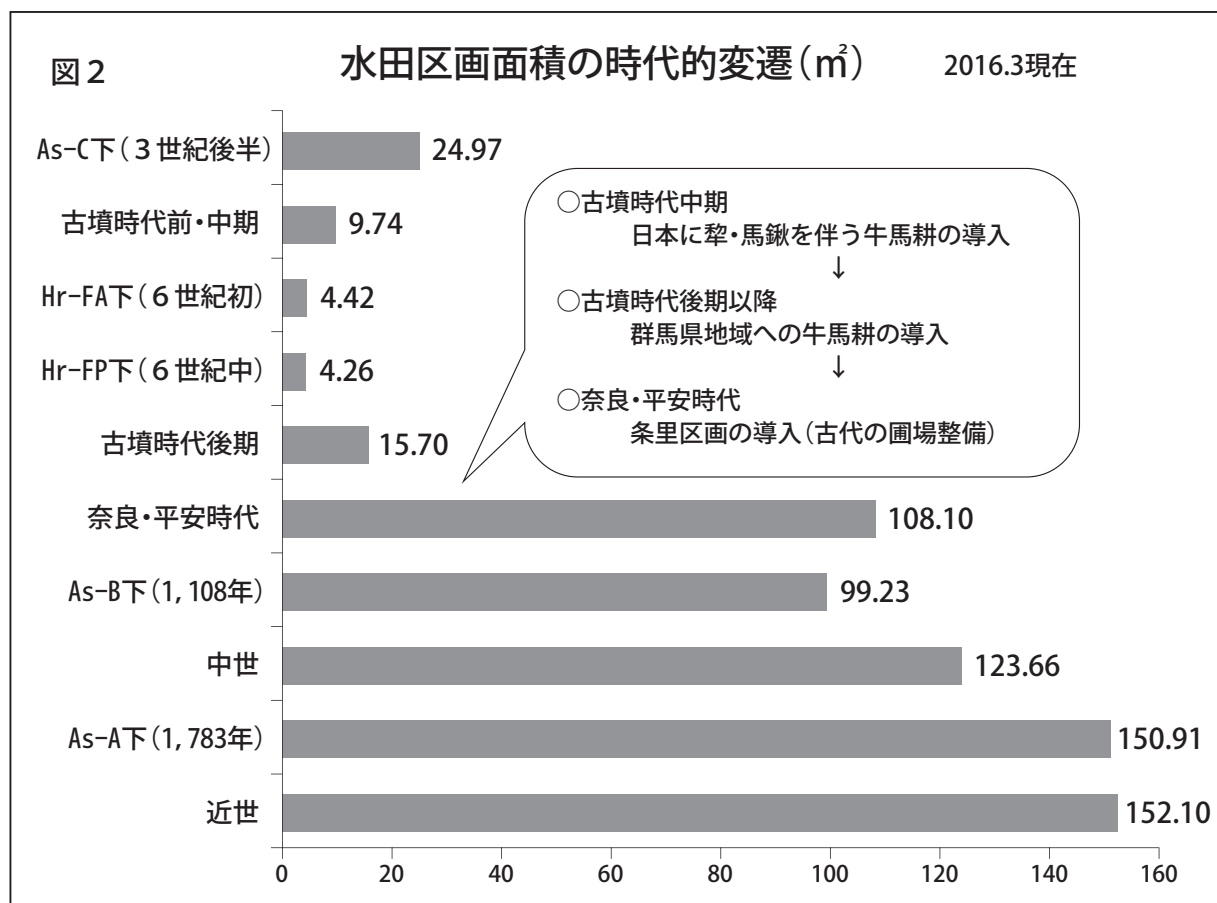
3. 一区画面積の時代的な変遷

次に、図2の各時代の一区画面積の変遷を見ていこう。この変遷についても、2002年時と大差は無い。

AD300年頃のAs-C下水田では、平均面積は約25㎡であるが、6世紀代には平均4㎡ほどに小型化する。以前、筆者は古墳時代後期までの水田跡を、総じて「小区画水田」に分類した^{注2}。その後、奈良・平安時代には、平均100㎡以上の「大区画水田」に大型化し、それが近世まで続く様子がわかる。

このような現状について筆者は、古墳時代中期に大陸から伝来したと考えられる犁・馬鋤を伴う牛馬耕の影響を指摘してきた(齊藤1998他)。

県内における水田区画規模の時代的な変遷は、古墳時代後期までは、小区画水田であったものが、奈良・平安時代から急激に100㎡以上の大区画になっている。これは、



「小区画→極小区画→大区画」という流れで理解することが可能である。

従来、筆者は小区画水田を、「不定形小区画」と「極小区画」に漠然と分けて来た(齊藤2001)。全国的に検出される弥生時代から古墳時代前期の小区画も、縦方向の小アゼが列状構造を呈し、その列間を横方向の小アゼで区切っていく方法で造成されている。これは、群馬県の古墳時代後期の極小区画と同じ構造であることから、弥生から古墳時代までの水田は、全体的に「小区画水田」として理解すべきである。もちろん、九州に伝来した水田跡も、すべてが小区画水田と考えられる。ただしそれらは、6世紀の極小区画水田と比して、相対的に区画面積が大きく、谷地など不規則な地形においては、その自然地形の影響を受けて、やや不定形な小区画を呈する。

群馬県の水田区画面積の変遷は、長野県・静岡県でも同じ様子が確認できる等、全国的な傾向であろうことはすでに指摘してきた(齊藤2002③)。つまり、県内の小区画水田は、火山灰土壤に影響された群馬県特有のものではなく、他県と全く同じ技術下の小区画水田なのであり、縄文時代晩期とされる水田稲作の伝来以降、古墳時代までに見られる時代的所産なのである。

図3は、各時代の水田平均面積の最大値と最小値を示したものである。ここからは、As-C下水田には80㎡以上の大きな区画から5㎡程度の区画まであり、平均すると24.97㎡になるということであり、6世紀のHr-FA下水田・Hr-FP下水田と比べても、大小の差が大きいことがわかる。これは、小区画水田と言っても、面積の差が大きく、

徹底的に規格化されているとは言えない状況にあったことを示している。

この図2・図3からは、次のことが考えられよう。

●水田区画規模の特徴●

- ① 3世紀後半のAs-C下水田から、6世紀中頃のHr-FP下水田までは、明らかに区画が小型化・規格化している。
- ② 古墳時代後期から奈良・平安時代の間に、1区画が100㎡を超える水田に大型化する。
- ③ 奈良・平安時代以降は、概ね平均100㎡以上の、大区画水田が近世まで続く。

①の変化については、増収を目的とした小型化・規格化による水管理の徹底化であり、小区画水田(人力段階)におけるマイナーチェンジと位置づけられる(齊藤1998ほか)。

また②は、犁・馬鍬を伴う牛馬耕の導入によって、縦横の小アゼ(手アゼ)が不要となり、もともとあった大畦畔による大区画が残ったことによる。

③は、牛馬耕の継続的な利用、それに伴う条里区画(古代の圃場整備)の導入と、その後、営々と継続されたとと思われる圃場整備の継続によると考えている。

これらの評価については、未だ議論の余地があると思われるが、筆者は概ね大過はないと考えている。特に、牛馬耕の導入時期については、未だ明確に整理されていないが、古墳から出土する馬具や埴輪、発掘調査で出土する馬鍬等から考えると、5世紀代には導入された可能

区画分類	時 代	水田区画面積の時代的変遷 (㎡)	最大面積 ～ 最小面積	データ使用遺跡 ／ 遺跡総数
小区画	As-C下(3世紀後半)	24.97	82.02 ～ 5.23	17 / 65
	古墳時代前・中期	9.74	21.31 ～ 1.60	22 / 59
極小区画	Hr-FA下(6世紀初)	4.42	35.84 ～ 1.27	69 / 154
	Hr-FP下(6世紀中)	4.26	29.49 ～ 1.48	37 / 75
極小区画?	古墳時代後期	15.70	15.70 ～ 15.70	※1 / 10
大区画	奈良・平安時代	108.10	192.73 ～ 9.12	11 / 54
	As-B下(1,108)	99.23	368.33 ～ 0.63	115 / 650
	中世	123.66	200.20 ～ 39.95	6 / 53
	As-A下(1,783)	150.91	262.98 ～ 40.80	7 / 52
	近世	152.10	152.10 ～ 152.10	※1 / 20

図3 各時代水田跡の最大面積と最小面積の比較 (灰色部分は、データが1遺跡のみ。参考として掲載した)

性が想定できる(河野1996、松井2004)。筆者も、その頃に日本に伝来し、群馬県には6世紀後半以降に導入されたと考えている。

4. まとめ

群馬県の水田跡は、2016年3月現在で、800遺跡以上が調査されており、その良質なデータの蓄積は世界に冠たるものである。

そこでは、「小区画→極小区画→大区画」という、区画規模の時代的変遷を明瞭に見ることができる。そこから考えられることは、縄文時代晩期に伝来したとされる水田稲作は、大畦畔で囲まれた大区画内を、幾筋もの平行な水流方向の小アゼ(手アゼ)により列状に分け、その列内を湛水単位に区切っていく小区画水田の技術なのであり、それは全国共通である。

従って、列状構造を呈する小区画水田の起源は、必ずや中国の長江流域まで遡れるはずである。これは、群馬県における良質な水田跡データの蓄積と、全国的な小区画水田の検出例の増加があるからこそ、推定できることである。その意味で、群馬県の水田跡一覧の集成は、極めて重要な意味を持っている。

このように考えてくると、登呂遺跡(静岡県)^{注3}や板付遺跡(福岡県)等のように、従来、大区画水田と理解されてきた水田跡は、本当に大区画だけだったのか、大区画内に列状の小アゼが無かったのか、水田跡研究が進展してきている現在、再検討すべき時期にきている。

一つの解釈であるが、高崎市の御布呂遺跡や芦田貝戸遺跡、渋川市の有馬条里遺跡では、6世紀のHr-FA下・Hr-FP下水田における作業工程の異なる遺構面が検出されている。例えば、①極小区画が完成している面、②列状の縦アゼだけの面、③小アゼが全く作られていない面などである。従来、大区画と評価されてきた水田跡は、大アゼのみが確認された上記③の場面という可能性も考えられるのではないだろうか。

また、牛馬耕についても、近年、いろいろな面からの研究が進み、東アジアにおける具体像が見えてきた。まず、良渚文化の「石犁」「破土器」が、耕起用の石器ではないという原田の指摘は、犁耕の中国国内起源説に大きな打撃を与えるものである(原田2014他)。これは、後漢から魏晋時代に北方畑作の農具体系が、水田耕作に転用されながら水田稲作用の馬鍬(耒)の発明がなされたとする、渡部武(2010)・河野通明(2015)の指摘を補完するものとなり、大変興味深い。

筆者は、犁・馬鍬を伴う牛馬耕の導入によって、小区画が消滅すると考えてきた。中国において馬鍬が開発された時期が、後漢から魏晋時代だとすれば、後漢時代より以前の長江流域には、群馬県の6世紀代に見られるような極小区画水田が、平野部一面に広がっていた様子も

想像できよう。今後の韓国・中国における、水田跡の発掘調査・研究のさらなる進展に期待したい。

参考文献

- 江浦 洋2012「水田と畠の耕作」『古墳時代の考古学5 時代を支えた生産と技術』25-37頁、同成社。
- 岡村 渉2008「静清平野 登呂遺跡」『弥生時代の考古学8 集落からよむ弥生社会』163-175頁、同成社。
- 韓国国立中央博物館2000図録『特別展 稲作文化三〇〇〇年一米一』
- 工楽善通1991『水田の考古学』東京大学出版会。
- 河野通明1996「東アジアにおける犁耕の展開についての試論」『商経論叢』第32巻第1号97-176頁、神奈川大学経済学会。
- 河野通明2010「民具から見た日本への犁耕の伝来時期と伝来事情」『歴史と民族』26、215-232頁、神奈川大学日本常民文化研究所。
- 河野通明2015『大化の改新は身近にあった―公地制・天皇・農業の一新―』和泉書院。
- 齋藤英敏1998「試論古代小区画水田―群馬県における事例を中心として―」『古文化談叢』第41集、77-101頁、九州古文化研究会。
- 齋藤英敏1999「水田区画規模と牛馬耕についての一試論―小区画水田から大区画水田へ―」『研究紀要』17、25-43頁、(財)群馬県埋蔵文化財調査事業団。
- 齋藤英敏 2001「小区画水田・極小区画水田の構造―群馬県の水田跡から見た古代東アジア―」『研究紀要』19、1-20頁、(財)群馬県埋蔵文化財調査事業団。
- 齋藤英敏2002①「秦漢以前の水稻作と弥生・古墳時代の水田跡―『周禮』稲入条の〈以列畝水〉と小区画水田の列状構造―」『アジア史研究』第26号205-228頁、中央大学東洋史学専攻創設五十周年記念 アジア史論叢、白東史学会。
- 齋藤英敏2002②「水田跡から見た東アジア農耕技術の変遷―「群馬県水田跡一覧表」の分析を通じて―」『研究紀要』20、11-26頁、(財)群馬県埋蔵文化財調査事業団。
- 齋藤英敏2002③「中国大陸から伝来した小区画水田―小区画水田と古代中国の水稲栽培技術―」『群馬文化』第272号33-50頁、群馬県地域文化研究協議会。
- 斎野裕彦2005「水田跡の構造と理解」『古代文化』第57巻第5号(通巻第556号)43-61頁、(財)古代学協会。
- 坂口 一1993「火山噴火の年代と季節の推定法」『火山灰考古学』151-172頁、古今書院。
- 静岡市立登呂博物館2016『弥生×登呂』登呂遺跡出土品重要文化財指定記念 特別展。
- 庄田慎矢2009「東北アジアの先史農耕と弥生農耕」『弥生時代の考古学5 食料の獲得と生産』39-54頁、同成社。
- 田崎博之2002「日本列島の水田稲作―紀元前一千年紀の水田遺構からの検討―」『東アジアと日本の考古学IV 生業』73-118頁、同成社。
- 田中義昭2011『弥生時代集落址の研究』新泉社。
- 田村 孝2003「大規模開発と水田」『新編高崎市史 通史編1 原始古代』

487-520頁、高崎市市史編さん委員会。

中村慎一2002『稻の考古学』同成社。

原田 幹2014「『破土器』の使用痕分析」『日本考古学』第38号 1-17頁、(一社)日本考古学協会。

原田 幹2015「『石犁』の使用痕分析」『日本考古学』第39号 1-16頁、(一社)日本考古学協会。

春山秀幸2002『横手南川端遺跡・横手湯田遺跡』(財)群馬県埋蔵文化財調査事業団。

樋上 昇2012『農具と農業生産』『古墳時代の考古学 5 時代を支えた生産と技術』13-24頁、同成社。

松井和幸2004「馬鍬の起源と変遷」『考古学研究』第51巻第1号(通巻201号) 76-93頁。

松田隆二・岡村渉・藤原宏志・宇田津徹朗1991「静岡平野南部における弥生時代後期(登呂層)水田址の検討—登呂遺跡・有東梶子遺跡・鷹ノ道遺跡・有東遺跡を例として—」『考古学と自然科学』第23号27-40頁、日本文化財科学会。

横倉興一2002「概説 古代の水田・畠」507-519頁、『新編 高崎市史 資料編 2 原始古代Ⅱ』。

若狭 徹2015『東国から読み解く古墳時代』吉川弘文館。

渡部 武2010「中国漢代画像石に見られる犁型の諸問題」『歴史と民族』26、157-178頁、神奈川大学日本常民文化研究所。

註

(1)河野通明は、小区画水田の用語について、これまでの学会用語として尊重しながらも、区画と呼ぶに相応しいのは大畦畔や水路で囲まれたブロックであり、手畦造成の極小区画を含む小区画水田は、「大区画小水面水田」と捉えるのが適切としておられる(河野2015)。

(2)筆者は、水田形態の発展過程として、小区画水田→極小区画水田→大区画水田という変遷を考えてきた。ただ「極小区画水田」も「小区画水田」であり、小区画水田(含 極小区画)→大区画水田という大きな流れの中で考えられるべきであろう。

(3)登呂遺跡では、平成の調査で大区画の中に小アゼ(手アゼ)があったことがわかっている。

(極小区画水田の特徴)

①水口は、横方向の小アゼに設置される。

②用水は、縦方向の小アゼ(列)に沿って、一直線に流下する。

③縦方向の小アゼ(列)には、水口は設けられない。

▼は水口



小区画水田の配水構造(上滝榎町北遺跡 AD 6世紀初)

(公財)群馬県埋蔵文化財調査事業団 2001『上滝榎町北遺跡』から編図

水稻田区划规模的变迁

—〈群馬県水田跡一覧表〉の更新— 斋藤 英敏

在群馬县，因有几层明确的火山灰层，所以能够明显地看出水田区划的历史变迁。如：小区划水田→极小区划水田→大区划水田。从水田稻作的传来到公元6世纪的水田都属于小区划水田（不定形小区划→极小区划）。然后一到公元9世纪前半，已经变成了大区划水田了。除了群馬县以外，在长野县和静冈县也都能够看出这样的变迁。

笔者一直认为，水田区划规模的变迁就反映着水稻耕作技术的演变，也就是水田灌溉技术的演变。并且能指出，从小区划到极小区划的变迁是指人力阶段的灌溉技术的发展（集约化），而从极小区划到大区划的变迁是带着犁、耖（耙）等畜力农耕技术导入·普及的影响。

群馬县的水田遗迹数量就有809地点、这就是世界第一的数量。这十年来，在韩国也发现了青铜器时代的小区划水田。因此，小区划水田的传来和从小区划到大区划的变迁问题就是，在含东亚水田稻作文化圈全体内的有国际性问题。

平成28年3月現在

群馬県水田跡一覧表

	遺跡名	所在地	報告書名	刊行者	年度	As-C下 (AD300 頃)	古墳時代 前・中期	Hr-FA下 (6 C初)	Hr-FP下 (6 C中)	古墳時代 後期	奈良・平 安時代	As-B下 (1,108)	中世	As-A下 (1,783)	近世	その他	備 考
1	熊鷹寺前遺跡	吾妻町	熊鷹寺前遺跡	吾妻町教育委員会	1966	—	—	—	—	—	—	148.30	—	—	—	—	As-B下水田：112㎡・176.6㎡の2区画
2	田中田・久保田遺跡	安中市	田中田・久保田遺跡	安中市教育委員会	1982	—	—	—	—	—	—	40.00	—	—	—	—	As-B下水田：24～72㎡
3	中屋敷東遺跡・田中田遺跡・大沼下遺跡	伊勢崎市	中屋敷東遺跡・田中田遺跡・大沼下遺跡	(財)群馬県埋蔵文化財調査事業団	2007	7.71	5.13	—	—	—	—	103.36	—	—	—	—	As-C下水田は4区対象
4	下田遺跡	伊勢崎市	熊埋文396集 下元屋敷遺跡・下田遺跡(1)	(財)群馬県埋蔵文化財調査事業団	2007	—	—	—	—	—	79.0～ 244.3	○	—	—	○	—	—
5	阿弥大寺本郷遺跡	伊勢崎市	熊埋文564集 阿弥大寺本郷遺跡	(財)群馬県埋蔵文化財調査事業団	2013	—	4.23	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
6	東上之宮遺跡	伊勢崎市	東上之宮遺跡	(財)群馬県埋蔵文化財調査事業団	2015	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	As-A下復旧痕、近世4面、中世4面、古墳時代畑
7	田中田遺跡Ⅱ	伊勢崎市	田中田遺跡Ⅱ	伊勢崎市教育委員会	2007	—	16.98	—	—	—	○	40.58	○	—	—	—	—
8	中屋敷東遺跡Ⅰ	伊勢崎市	波志江中野面遺跡(1) —古墳時代以降編—	伊勢崎市教育委員会	2008	—	5.00	—	—	○	—	13.90	—	—	—	—	—
9	波志江中野面遺跡	伊勢崎市	波志江中野面遺跡(1) —古墳時代以降編—	(財)群馬県埋蔵文化財調査事業団	2001	—	—	—	—	—	—	141.99	—	—	—	—	—
10	波志江中屋敷遺跡	伊勢崎市	波志江中屋敷遺跡	(財)群馬県埋蔵文化財調査事業団	2003	—	7.82	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
11	波志江中屋敷西遺跡	伊勢崎市	波志江中屋敷西遺跡	(財)群馬県埋蔵文化財調査事業団	2005	—	10.29	—	—	—	—	○	—	—	—	—	—
12	波志江中屋敷東遺跡	伊勢崎市	波志江中屋敷東遺跡	(財)群馬県埋蔵文化財調査事業団	2002	—	8.71	—	—	—	—	75.69	—	—	—	—	古墳時代中期2面あり。第4面平均10.05㎡
13	宮柴前遺跡Ⅰ・Ⅱ	伊勢崎市	宮柴前遺跡Ⅰ・Ⅱ	伊勢崎市教育委員会	2003	—	—	—	—	—	—	—	—	126.82	—	—	As-A下畑、サトイモ右溝型、稲株痕、草取り手指跡、足跡
14	五目牛清水田遺跡	伊勢崎市 (旧赤堀町)	群埋文144集 五目牛清水田遺跡	(財)群馬県埋蔵文化財調査事業団	1983	—	○	—	—	—	—	○	—	—	—	—	弥生時代後期後半～平安時代末期の間、全部で1面(1H～8H水田等)検出されている。1H水田は奈良・平安時代、2～4H水田は古墳後期、5～8H水田は古墳前・中期である。8H水田：平均4.06㎡、1.60～11.55㎡、7H水田：平均5.98㎡、1.36～9.66㎡、6H水田：平均4.60㎡、1.78～8.69㎡、4H水田：平均18.4㎡、10.41～34.70㎡、2H水田：3.35～209.51㎡、1H水田：平均94.80㎡、11.10～183.81㎡。
15	東今泉鹿島遺跡	太田市	群埋文403集 東今泉鹿島遺跡	(財)群馬県埋蔵文化財調査事業団	2007	—	—	—	—	15.70	—	○	—	—	—	—	—
16	成塚遺跡群	太田市	群埋文501集 成塚遺跡群	(財)群馬県埋蔵文化財調査事業団	2010	—	—	—	—	—	—	368.33	—	—	—	—	—
17	道原遺跡	太田市	群埋文533集 道原遺跡	(財)群馬県埋蔵文化財調査事業団	2012	—	3.90	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
18	世良田諏訪下遺跡	太田市	世良田諏訪下遺跡	太田市教育委員会(尾島町教育委員会)	1988	—	—	—	—	—	141.22	—	—	—	—	—	奈良・平安水田：11.19～1188.46㎡
19	甘栗条里遺跡	甘栗町	甘栗町埋蔵文化財調査 報告書第2集 甘栗条里遺跡	甘栗町教育委員会	1984	—	○	—	—	—	—	34.73 ～ 77.92	—	—	—	—	古墳前・中期水田：時期詳細不明。3.35㎡、8.39㎡の2区画あり。As-B下水田：検出36枚、面積にかなりのひらきあり。
20	中郷田尻遺跡	渋川市	群埋文412集 中郷田尻遺跡	(財)群馬県埋蔵文化財調査事業団	2007	—	—	7.89	4.48	—	—	—	—	—	—	—	—
21	吹屋榎屋遺跡	渋川市	群埋文404集 吹屋榎屋遺跡	(財)群馬県埋蔵文化財調査事業団	2007	—	—	9.61	5.00	—	—	—	—	—	—	—	『群馬文化』265号に、レポートあり 年報24
22	北牧大境遺跡	渋川市	群埋文339号 北牧大境遺跡	(財)群馬県埋蔵文化財調査事業団	2004	—	—	7.72	2.92	—	—	—	—	—	—	—	Ⅲ区
23	中郷恵久保遺跡	渋川市	群埋文364集 中郷恵久保遺跡(吹屋中原遺跡Ⅳ区1)	(財)群馬県埋蔵文化財調査事業団	2006	—	—	33.89	6.11	—	—	—	—	—	—	—	—
24	吹屋大子塚遺跡	吹屋	群埋文207集 白井北中道Ⅱ遺跡・吹屋大子塚遺跡・吹屋中原遺跡	(財)群馬県埋蔵文化財調査事業団	1986	—	—	5～15	—	—	—	—	—	—	—	—	—
25	吹屋瓜田遺跡	吹屋	群埋文212集 吹屋瓜田遺跡	(財)群馬県埋蔵文化財調査事業団	1986	—	—	5.66	3.74	—	—	—	—	—	—	—	—

	遺跡名	所在地	報告書名	刊行者	年度	As-CT (AD300頃)	古墳時代 前・中期	Hr-FA下 (6 C初)	Hr-PP下 (6 C中)	古墳時代 後期	奈良・平 安時代	As-B下 (1,108)	中世	As-A下 (1,783)	近世	その他	備 考
26	坂之下遺跡	波川市	坂之下遺跡発掘調査報告書	波川市教育委員会	1988	—	—	1.30	—	—	—	—	—	—	—	—	Hr-FA下水田：柳小区画の最辺85～153m、短辺81～115cm、平均値は130×100cm。
27	中村遺跡	波川市	中村遺跡	波川市教育委員会	1986	—	—	7.64	29.49	—	—	—	—	○	—	—	Hr-FA下水田：1.79～102.40㎡。Hr-PP下水田：4.44～35.9㎡。As-A下水田：B-Ⅲ区で、400㎡の水田2区画
28	有馬条理遺跡Ⅰ	波川市	群理文97集 有馬条理遺跡Ⅰ	(財)群馬県埋蔵文化財 調査事業団	1989	—	—	—	2.26	—	—	—	—	—	—	—	Hr-PP下水田：0.20～19.29㎡
29	八木原沖田Ⅵ遺跡	波川市	八木原沖田Ⅵ遺跡	波川市教育委員会	1995	—	—	—	1.66	—	—	—	—	—	—	—	Hr-FA下水田：0.77～2.88㎡
30	上三原田日向遺跡	波川市	横野地区遺跡群Ⅲ 上三原田日向遺跡・上三原田中坪遺跡・見立塚遺跡Ⅱ	波川市教育委員会(赤城 村教育委員会)	2002	—	—	4.00	—	—	—	—	—	—	—	—	古墳水田
31	田ノ保遺跡	波川市	北町遺跡・田ノ保遺跡	波川市教育委員会(北橘 村教育委員会)	1996	—	—	4.08	4.21	—	—	—	—	—	—	—	Hr-FA下水田：1.20～28.14㎡。Hr-PP下水田：0.38～11.96㎡
32	川額重原Ⅱ遺跡	昭和村	川額重原Ⅱ遺跡	昭和村教育委員会	1994	—	—	—	7.30	—	—	—	—	—	—	—	Hr-FA下水田：2.58～55.22㎡
33	棟高辻久保遺跡	高崎市	群理文366集 棟高辻久保遺跡	(財)群馬県埋蔵文化財 調査事業団	2006	—	—	—	—	—	—	136.80	—	—	—	—	—
34	菅谷石塚遺跡	高崎市	群理文313集 菅谷石塚遺跡	(財)群馬県埋蔵文化財 調査事業団	2003	—	21.31	2.91	2.25	—	—	30.24	—	—	—	—	—
35	飯塚新田西Ⅱ遺跡	高崎市	高崎市遺跡調査会発掘 調査報告書第69集 飯塚新田西Ⅱ遺跡	高崎市遺跡調査会	1988	—	—	4.21	—	—	—	123.01	—	—	○	—	その他：As-C縣右下排水下水田。Hr-FA下水田：0.86～39.50㎡。As-B下水田：0.09～283.15㎡
36	東金井Ⅱ遺跡	高崎市	高崎市遺跡調査会発掘 調査報告書第31集 群馬県高崎市東金井Ⅱ遺跡	高崎市遺跡調査会	1993	—	—	—	—	—	—	111.70	—	○	—	—	As-B下水田：6.0～328.0㎡
37	岩押町Ⅰ遺跡	高崎市	高崎市遺跡調査会発掘 調査報告書第25集 岩押町Ⅰ遺跡	高崎市遺跡調査会	1994	—	—	—	—	—	—	100～240	—	—	—	—	As-B下水田：牛飼跡
38	江水諏訪西遺跡	高崎市	高崎市遺跡調査会発掘 調査報告書第42集 江水諏訪西遺跡	高崎市遺跡調査会	1995	—	—	—	—	—	—	164.26	—	—	—	—	As-B下水田：27.04～642.62㎡
39	大八木屋敷遺跡	高崎市	群理文198集 大八木屋敷遺跡	(財)群馬県埋蔵文化財 調査事業団	1996	18～30	5～35	1～3	2～7.0	—	—	—	—	—	—	—	—
40	熊野堂遺跡(2)	高崎市	群理文100集 熊野堂遺跡(2)	(財)群馬県埋蔵文化財 調査事業団	1990	26.00	—	3.00	—	—	—	—	—	—	—	—	As-C下水田：2.40～87.20㎡。Hr-FA下水田：0.75～34.25㎡
41	上大瀬坂寸根遺跡	高崎市	高崎市遺跡調査会発掘 調査報告書第64集 上大瀬坂寸根遺跡	高崎市遺跡調査会	1997	—	—	—	—	—	—	99.39	—	—	—	—	As-B下水田：53.66～127.90㎡
42	天田遺跡(Ⅰ)	高崎市	高崎市第48集 天田遺跡(Ⅰ)	高崎市教育委員会	1984	—	—	—	—	—	—	351.96	—	—	—	—	As-B下水田：112.5～751.00㎡
43	上佐野樋越遺跡	高崎市	群理文300集 上佐野樋越遺跡	(財)群馬県埋蔵文化財 調査事業団	2002	—	—	—	—	—	—	231.32	—	—	—	—	—
44	上流樋町北Ⅱ遺跡	高崎市	高崎市遺跡調査会発掘 調査報告書第63集 上流樋町北Ⅱ遺跡	高崎市遺跡調査会	1997	—	—	2.46	2.79	—	—	—	—	—	—	—	Hr-FA下水田：1.71～3.14㎡。Hr-PP下水田：1.91～4.45㎡
45	上流樋町北遺跡 (北園東百動車道)	高崎市	群理文290集 上流樋町北遺跡	(財)群馬県埋蔵文化財 調査事業団	2002	—	5.79	2.36	—	—	—	94.97	—	262.98	—	—	—
46	上流樋町北遺跡 (奥道加橋長静線)	高崎市	群理文289集 上流樋町北遺跡・上流樋町北Ⅱ遺跡	(財)群馬県埋蔵文化財 調査事業団	2002	—	—	2.38	3 m前後	—	—	○	—	○	—	—	Hr-FA下水田：F区の数値
47	上流樋町北Ⅲ遺跡	高崎市	群理文229号 上流樋町北Ⅲ遺跡	(財)群馬県埋蔵文化財 調査事業団	2004	—	—	2.12	—	—	—	○	—	—	—	—	—
48	上流Ⅱ遺跡	高崎市	群理文289集 上流樋町北遺跡・上流樋町北Ⅱ遺跡	(財)群馬県埋蔵文化財 調査事業団	2002	—	—	○	2.40	—	—	—	—	—	—	—	Hr-PP下水田：2大区画の数値
49	上流五反畑遺跡	高崎市	群理文258集 上流五反畑遺跡	(財)群馬県埋蔵文化財 調査事業団	1999	—	—	3.27	—	—	—	90.36	—	230.00	—	—	Hr-FA下水田：1.05～7.78㎡。As-B下水田：42.87～226.77㎡。As-A下水田：84.3～391.1㎡
50	上中居荒神Ⅰ遺跡	高崎市	高崎市遺跡調査会発掘 調査報告書第62集 上中居荒神Ⅰ遺跡	高崎市教育委員会	1997	—	—	—	—	—	—	165.27	—	—	—	—	As-B下水田：76.73～167.58㎡

	遺跡名	所在地	報告書名	刊行者	年度	As-C下 (AD300 頃)	古墳時代 前・中期 (6 C 初)	Hr-FA下 (6 C 中)	古墳時代 後期	奈良・平 安時代	As-B下 (1,108)	中世	As-A下 (1,783)	近世	その他	備 考
51	石神・五反田(Ⅱ)遺跡	高崎市	高崎市第72集 石神・五反田(Ⅱ)遺跡	高崎市教育委員会	1986	—	—	—	—	—	41.94	—	—	—	—	As-B下水田：10.6～60.6㎡
52	上野前(Ⅰ)・大明神 (Ⅰ)遺跡	高崎市	高崎市第51集 上野前(Ⅰ)・大明神 (Ⅰ)遺跡	高崎市教育委員会	1984	—	—	—	—	—	23.13	—	—	—	—	As-B下水田：12.70～33.56㎡
53	上野前(Ⅱ)・大明神 (Ⅱ)・五反田(Ⅰ)遺跡	高崎市	高崎市第63集 菊地遺跡群(V) 上野 前(Ⅱ)・大明神(Ⅱ)・ 五反田(Ⅰ)遺跡	高崎市教育委員会	1985	—	—	—	—	—	62.91	—	—	—	—	As-B下水田：20.6～178.57㎡
54	菊地遺跡群(Ⅰ)	高崎市	高崎市第27集 菊地遺跡群(Ⅰ)	高崎市教育委員会	1981	—	—	—	—	—	91.37	—	—	—	—	As-B下水田：17.99～362.06㎡
55	菊地遺跡群(Ⅱ)	高崎市	高崎市第32集 菊地遺跡群(Ⅱ)	高崎市教育委員会	1982	—	—	—	—	—	50.62	—	—	—	—	As-B下水田：1.65～218.82㎡
56	北新波遺跡	高崎市	高崎市第33集 北新波遺跡	高崎市教育委員会	1982	—	—	—	—	—	51.94	—	—	—	—	As-B下水田：5.96～185.21㎡
57	小八木遺跡(Ⅰ)	高崎市	高崎市第8集 小八木遺跡調査報告書 (Ⅰ)	高崎市教育委員会	1979	48.88	—	—	—	—	—	—	—	—	—	As-C下水田：17～85㎡
58	小八木遺跡(Ⅱ)	高崎市	高崎市第15集 小八木遺跡(Ⅱ)	高崎市教育委員会	1980	—	—	—	—	—	74.76	—	—	—	—	As-B下水田：14.77～174.08㎡
59	西島遺跡群(Ⅲ)	高崎市	高崎市第68集 西島遺跡群(Ⅲ)	高崎市教育委員会	1986	—	—	—	—	—	197.75	—	—	—	—	As-B下水田：23～569㎡
60	下小島神戸遺跡	高崎市	群埋文229集 下小島神戸遺跡	(財)群馬県埋蔵文化財 調査事業団	1997	○	2.94	—	—	—	○	—	—	—	—	Hr-FA下水田：1.7～4.4㎡
61	下小島町頭Ⅱ遺跡	高崎市	高崎市遺跡調査会発掘 調査報告書第49集 下小島町頭Ⅱ遺跡	高崎市遺跡調査会	1996	○	2.48	—	—	—	○	—	—	—	—	As-C下水田：遺存状況不良。Hr-FA下水田： 1.80～3.00㎡。As-B下水田：可能性のみ
62	下流天水遺跡	高崎市	群埋文329号 下流天水遺跡	(財)群馬県埋蔵文化財 調査事業団	2004	—	6.00	2.50	—	—	230.93	○	—	—	—	Hr-FA下はD区の平均値
63	下之城村前Ⅱ遺跡	高崎市	高崎市遺跡調査会発掘 調査報告書第50集 下之城村前Ⅱ遺跡	高崎市遺跡調査会	1996	—	—	—	—	—	225.50	—	—	—	—	As-B下水田：198.2～269.9㎡
64	山島・天神遺跡	高崎市	高崎市第56集 宿大類遺跡群(3)山 島・天神遺跡	高崎市教育委員会	1984	—	—	—	—	—	120.00	—	—	—	—	As-B下水田：18.5～300㎡
65	宿横手三波川遺跡 (北関東自動車道)	高崎市	群埋文273集 宿横手三波川遺跡	(財)群馬県埋蔵文化財 調査事業団	2001	—	18.74	1.85	1.81	—	123.79	—	186.55	—	—	古墳前・中胸水田：As-C混上水田。Hr-F P下水田：1.66～2.08㎡
66	宿横手遺跡群 (北関東自動車道)	高崎市	群埋文274集 宿横手遺跡群	(財)群馬県埋蔵文化財 調査事業団	2001	○	○	1.72	5.80	—	○	—	—	—	—	Hr-FA下水田：2.2～2.6㎡。Hr-FP下水田： 1.0～2.3㎡。
67	宿横手三波川遺跡 (県道前橋長井線)	高崎市	群埋文310集 宿横手三波川遺跡・西 横手遺跡群	(財)群馬県埋蔵文化財 調査事業団	2002	—	19.20	2.54	2.04	—	62.10	172.30	—	152.10	—	D区の数値(近世はA・C区)
68	西横手遺跡群 (県道前橋長井線)	高崎市	群埋文310集 宿横手三波川遺跡・西 横手遺跡群	(財)群馬県埋蔵文化財 調査事業団	2002	—	○	1.70	1.70	—	222.90	—	—	—	—	B区の数値(As-B下はA区)
69	正観寺西原遺跡	高崎市	群埋文272集 小八木志志貝戸遺跡群 2～小八木志貝戸遺 跡・正観寺西原遺跡・ 菅谷石塚遺跡一	(財)群馬県埋蔵文化財 調査事業団	2001	—	—	—	—	—	20～120	—	—	—	—	As-B下水田：9.78～102.7㎡ As-C下水田：8.73～29.23㎡。Hr-FA下 水田：0.54～49.136㎡。村前地区平均 7.63㎡。下り柳地区平均2.16㎡。As-B下 水田：37.15～43.79㎡
70	昭和町Ⅰ遺跡	高崎市	昭和町Ⅰ遺跡	高崎市遺跡調査会	1993	—	—	—	—	—	75.06	—	—	—	—	Hr-FA下水田：1.08～13.92㎡。A区平均 3.44㎡。C区平均3.22㎡
71	新保田中村前遺跡Ⅰ	高崎市	群埋文107集 新保田中村前遺跡Ⅰ	(財)群馬県埋蔵文化財 調査事業団	1990	19.09	—	3.84	—	—	40.47	—	—	—	—	As-C下水田：計測可3区画のみ。As-B下 水田：42.97～337.69㎡。
72	新保遺跡Ⅱ	高崎市	群埋文66集 新保遺跡Ⅱ	(財)群馬県埋蔵文化財 調査事業団	1988	—	—	3.25	—	—	—	—	—	—	—	Hr-FA下水田：新保地区4区の計測値。 2.88～19.84㎡。
73	西島遺跡群Ⅱ	高崎市	高崎市第59集 西島遺跡群(Ⅱ)	高崎市教育委員会	1985	48.03	—	—	—	—	134.49	—	—	—	—	As-B下
74	西島遺跡群Ⅳ	高崎市	高崎市第76集 西島遺跡群(Ⅳ)	高崎市教育委員会	1987	—	—	10.17	—	—	—	—	—	—	—	As-B下
75	問屋町西遺跡	高崎市	高崎市第112集 高崎市内遺跡埋蔵文化 財緊急発掘調査報告書	高崎市教育委員会	1991	—	—	0.8～ 2.9	—	—	○	—	—	—	—	As-B下

遺跡名	所在地	報告書名	刊行者	年度	As-C下 (AD300頃)	古墳時代 前・中期	Hr-FA下 (6 C初)	Hr-FP下 (6 C中)	古墳時代 後期	奈良・平 安時代	As-B下 (1,108)	中世	As-A下 (1,783)	近世	その他	備 考
76 中尾村前V遺跡	高崎市	高崎市遺跡調査会発掘 調査報告書第51集 中尾村前V遺跡	高崎市遺跡調査会	1986	3～35	—	—	—	—	—	○	—	—	—	—	
77 並榎北Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ・Ⅴ 遺跡	高崎市	高崎市第144集 並榎北Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ・Ⅴ 遺跡	高崎市教育委員会	1986	5.23	—	3.1～ 4.9	—	—	—	○	—	—	—	27.50	その他：弥生中期末～後期前半の水田跡、 計測可2区画(28㎡・29㎡)。As-C下水田： 5区の数値(計測可3区画)。Hr-FA下水田： 5区の数値
78 西横手遺跡群(Ⅰ)	高崎市	高崎市第94集 西横手遺跡群	高崎市教育委員会	1989	—	—	2.39	—	—	—	○	—	—	—	—	Hr-FA下水田：比較的大きい区画は19.2～ 61.2㎡(平均36.91㎡)。
79 西横手遺跡群(Ⅱ)	高崎市	高崎市第100集 西横手遺跡群(Ⅱ)	高崎市教育委員会	1990	○	—	2.66	—	—	—	○	—	—	—	—	As-C下水田：水路の存在から水田跡の可 能性あり。Hr-FA下水田：Ⅵ-C区の計測値。 Ⅵ-A・D・G区の平坦面積は2.15㎡。
80 萩原沖中Ⅱ遺跡	高崎市	高崎市第209集 萩原沖中Ⅱ遺跡	高崎市教育委員会	2007	—	—	0.62～ 2.5	2.4前後	—	—	○	—	—	—	—	Hr-FA下：4区3面C区画、Hr-FP下：4 区2面C区画
81 萩原沖中遺跡第3次調 査	高崎市	高崎市第238集 萩原沖中遺跡第3次調 査	高崎市教育委員会	2009	—	—	1.78	2.25	—	—	93.62	—	—	—	—	Hr-FA下：水田区画内に台地部(作業場・ 祭祀跡?)
82 萩原沖中遺跡5	高崎市	高崎市第243集 萩原沖中遺跡5	高崎市教育委員会	2009	—	—	○	3.03	—	—	○	—	—	—	—	
83 萩原沖中遺跡6	高崎市	高崎市第251号 萩原沖中遺跡6	高崎市教育委員会	2009	—	—	1.74	2.18	—	—	○	—	—	—	—	
84 萩原沖中遺跡7	高崎市	高崎市第317号 萩原沖中遺跡7、西横 手・西免遺跡4、西横 手・西免遺跡5	高崎市教育委員会	2013	—	○	1.67	2.63	—	—	209.81	—	—	—	—	年報33：古墳水田、平安水田
85 西横手・西免遺跡5	高崎市	高崎市第317号 萩原沖中遺跡7、西横 手・西免遺跡4、西横手・ 西免遺跡5	高崎市教育委員会	2013	—	○	1.76	—	—	—	72.51	—	—	—	—	Hr-FA下水田：H20立合い調査結果は除く
86 萩原上・下五丁田Ⅰ遺 跡	高崎市	萩原上・下五丁田Ⅰ遺 跡	高崎市教育委員会	1999	—	—	○	1.48	—	—	○	—	—	—	—	Hr-FP下水田：0.48～12.48㎡、計測可3 区画
87 萩原団地遺跡	高崎市	高崎市遺跡調査会発掘 調査報告書第30集 萩原団地遺跡	高崎市遺跡調査会	1983	—	—	2.49	3.31	—	—	○	—	—	—	—	Hr-FA下水田：0.8～6.72㎡。Hr-FP下水田： 1.08～11.8㎡
88 芦田貝戸遺跡	高崎市	高崎市第9集 芦田貝戸遺跡	高崎市教育委員会	1979	10～24	—	—	—	—	—	○	—	—	—	—	Hr-FA下水田：1.425～14.841㎡
89 芦田貝戸遺跡	高崎市	群埋文Z34集 芦田貝戸・御布呂・餅 井貝戸・西下井出遺跡	(財)群馬県埋蔵文化財 調査事業団	1988	1,688～ 80,770	—	1.70	—	—	—	—	—	—	—	—	As-C下水田：15.84～49.92㎡。Hr-FA下水 田：Ⅲ区-Aは3.6～5.0㎡の区画が多い。 Ⅲ区-Cは2.2～3.5㎡の区画が多い。Ⅲ区 -Fは2.9～4.4㎡の区画が多い。
90 芦田貝戸遺跡Ⅱ	高崎市	高崎市第19集 芦田貝戸遺跡Ⅱ	高崎市教育委員会	1980	33.49	—	0.5～ 7.5	—	—	—	○	—	—	—	—	古墳前・中期水田：短辺1.2～1.5m、長 辺1.5～2.3m。Hr-FA下水田：1・4区 の数値、2区は2.5m前後が多く、3区は 3㎡代が多く、5区は1.8～2.4m前後の 面積が多い。As-B下水田：130㎡以上の区 画もある。
91 芦田貝戸遺跡Ⅲ	高崎市	高崎市第134集 浜川芦田貝戸遺跡Ⅲ	高崎市教育委員会	1994	○	○	3.00	—	—	—	20～70	—	—	—	—	Hr-FA下水田：0.825～6.506㎡
92 御布呂遺跡	高崎市	群埋文Z34集 芦田貝戸・御布呂・餅 井貝戸・西下井出遺跡	(財)群馬県埋蔵文化財 調査事業団	1988	26.1～ 9.00	—	1.57	—	—	—	○	—	—	—	—	As-C水田：本文では約30㎡。Hr-FA下水田： 本文では3～4.5㎡主体。Hr-FP下水田： 1.2～4.3㎡
93 御布呂遺跡	高崎市	高崎市第18集 御布呂遺跡	高崎市教育委員会	1980	27.92	—	3.43	2.36	—	—	—	—	—	—	—	As-B下水田：114～200㎡
94 寺ノ内遺跡	高崎市	高崎市第13集 寺ノ内遺跡	高崎市教育委員会	1979	—	—	—	—	—	—	160.00	—	—	—	—	その他：弥生時代の水田14区画中、4区 画計測可、20～145㎡。As-C下水田跡： 推定計測可1枚55㎡。Hr-FA下水田：1～ A区の数値。また各調査区区平均面積は1～ B区で9.46～20.58㎡、2区平均3.68㎡、 4区平均37.51㎡。
95 並榎北遺跡	高崎市	高崎市第84集 並榎北遺跡	高崎市教育委員会	1988	○	—	2.85	—	—	—	80～490	—	—	—	81.25	

	遺跡名	所在地	報告書名	刊行者	年度	As-C下 (AD300頃)	古墳時代 前・中期	Hr-FA下 (6 C初)	Hr-PP下 (6 C中)	古墳時代 後期	奈良・平 安時代	As-B下 (1,108)	中世	As-A下 (1,783)	近世	その他	備 考
96	西下井手遺跡	高崎市	浜川町 群埋文234集 芦田貝戸・御布呂・餅 井貝戸・西下井出遺跡	(財)群馬県埋蔵文化財 調査事業団	1968	○	—	—	1.89	—	—	—	—	—	—	—	Hr-PP下水田：0.025～6.60㎡
97	浜川館遺跡	高崎市	浜川町 群埋文238集 浜川遺跡群	(財)群馬県埋蔵文化財 調査事業団	1968	16.50	—	2.32	2.22	—	—	○	—	—	—	—	As-B下水田：棚田状
98	浜川高田遺跡	高崎市	浜川町 群埋文238集 浜川遺跡群	(財)群馬県埋蔵文化財 調査事業団	1968	11.70	—	2.00	2.00	—	—	○	—	—	—	—	
99	浜川長町遺跡	高崎市	浜川町 群埋文238集 浜川遺跡群	(財)群馬県埋蔵文化財 調査事業団	1968	10.00	—	3.29	—	—	—	○	—	—	—	—	
100	餅井貝戸遺跡	高崎市	群埋文234集 芦田貝戸・御布呂・餅 井貝戸・西下井出遺跡	(財)群馬県埋蔵文化財 調査事業団	1968	2.975～ 11.70	—	1.90	—	—	—	47.51	—	—	—	—	Hr-FA下水田：1.00～7.483㎡。As-B下水 田：15.075～308.475㎡
101	矢島遺跡	高崎市	浜川町 高崎市第7集 矢島遺跡・御布呂遺跡	高崎市教育委員会	1979	—	—	—	—	—	—	42.50	—	—	—	—	As-B下水田：25.5㎡・59.5㎡の2区画検 出
102	日高遺跡	高崎市	日高町 群埋文10集 日高遺跡	(財)群馬県埋蔵文化財 調査事業団	1982	82.02	—	—	—	—	—	102.84	—	—	—	—	As-C下水田：3.6～345.9㎡。As-B下水田： 2.21～143.6㎡
103	日高遺跡(Ⅱ)	高崎市	日高町 高崎市第17集 日高遺跡(Ⅱ)	高崎市教育委員会	1980	—	—	—	—	—	—	236.69	—	—	—	—	As-B下水田：10.8～1025.12㎡
104	日高遺跡(Ⅲ)	高崎市	日高町 高崎市第20集 日高遺跡(Ⅲ)	高崎市教育委員会	1981	—	—	—	—	—	—	214.78	—	—	—	—	As-B下水田：5.8～905.8㎡
105	日高遺跡(Ⅳ)	高崎市	日高町 高崎市第34集 日高遺跡(Ⅳ)	高崎市教育委員会	1982	○	—	大半1.3 ～3.0	—	—	—	92.68	—	—	—	—	As-B下水田：8.4～276.8㎡。Hr-FA下水田： 0.7～9.4㎡、最も多い区画面積は1.7～ 1.8㎡。
106	南大類東沖・稲荷遺跡	高崎市	南大類町 高崎市第148集 南大類東沖・稲荷遺跡	高崎市教育委員会	1997	—	—	—	—	—	○	59.03	—	—	—	—	As-B下水田：11.0～110.0㎡
107	元島名瓦井遺跡	高崎市	元島名町 高崎市遺跡調査会発掘 調査報告書第39集 元島名瓦井遺跡	高崎市遺跡調査会	1995	—	—	—	—	—	—	150.00	—	—	—	—	As-B下水田：計測可3区画
108	柴崎前遺跡	高崎市	矢中町 高崎市第52集 矢中遺跡群(V) 柴崎 前・村北B遺跡	高崎市教育委員会	1984	—	—	—	—	—	—	63.88	—	—	—	—	As-B下水田：60.80～66.96㎡
109	矢中村東B遺跡	高崎市	矢中町 高崎市第60集 矢中遺跡群(Ⅵ)矢中村 東B遺跡	高崎市教育委員会	1985	—	—	—	—	—	—	166.33	—	—	—	—	As-B下水田：147～176㎡
110	矢中村東遺跡	高崎市	矢中町 高崎市第57集 矢中遺跡群(VⅦ)	高崎市教育委員会	1984	—	—	—	—	—	—	94～290	—	—	—	—	As-B下水田：計測可2区画のみ
111	殿田遺跡	高崎市	楽間町 高崎市第39集 長野北部遺跡群 中屋 敷西(Ⅰ)・殿田・清水 (Ⅰ)・舞台(Ⅰ)遺跡	高崎市教育委員会	1983	—	—	—	—	—	—	42.93	—	—	—	—	As-B下水田：6～207.3㎡
112	当貝戸・梶原遺跡	高崎市	我峰町 高崎市第38集 当地遺跡群(Ⅱ)当貝 戸・梶原遺跡	高崎市教育委員会	1983	—	—	—	—	—	—	25.88	—	—	—	—	As-B下水田：0.3～175.52㎡
113	上並榎御料所Ⅱ遺跡	高崎市	上並榎町 高崎市遺跡調査会発掘 調査報告書第65集 上並榎御料所Ⅱ遺跡	高崎市遺跡調査会	1997	—	○	1.27	3.42	—	—	76.00	—	—	—	—	Hr-FA下水田：0.57～2.88㎡。Hr-PP下水 田：2.7～5.8㎡。As-B下水田：計測可1 区画のみ
114	上並榎御料所遺跡	高崎市	上並榎町 高崎市第108集 上並榎御料所遺跡	高崎市教育委員会	1990	18～25	—	○	—	—	—	○	—	—	—	—	As-C下水田：3区の計測値。Hr-FA下水田： 調査区では22～60㎡ほどの大きな区画が あるが、その内部に微妙な小畦畔がある。
115	井出地区遺跡群水田遺 跡	高崎市	井出 井出地区遺跡群	高崎市教育委員会(群馬 町教育委員会)	1999	○	—	2.83	○	—	—	○	—	—	—	—	Hr-FA下水田：1.49～12.8㎡
116	下布留Ⅱ遺跡	高崎市	井出 井出地区遺跡群	高崎市教育委員会(群馬 町教育委員会)	1999	—	—	2.24	—	—	—	○	—	—	—	—	Hr-FA下水田：1.57～3.05㎡
117	同道遺跡	高崎市	群埋文20集 同道遺跡	(財)群馬県埋蔵文化財 調査事業団	1983	30.31	—	4.12	3.25	—	—	109.39	—	—	—	—	As-C下水田：4.13～92.24㎡。Hr-FA下水 田：2.61～6.36㎡。Hr-PP下水田：1.20 ～8.06㎡。As-B下水田：28.92～363.8㎡
118	北原遺跡	高崎市	北原 群馬町埋蔵文化財調査 報告第10集	高崎市教育委員会(群馬 町教育委員会)	1984	—	—	—	3.75～ 5.4	—	—	—	—	—	—	—	Hr-PP下水田：1.5m×2.5mの小規模なも のから、1.5m×3.6mの大きな区画
119	菅谷石塚遺跡(小八木 志忠貝戸遺跡群)	高崎市	菅谷 群埋文272集 小八木志忠貝戸遺跡群 2～小八木志忠貝戸遺 跡・正親寺西原遺跡・ 菅谷石塚遺跡一	(財)群馬県埋蔵文化財 調査事業団	2001	—	0.4～10	0.2～5	—	—	—	2～20	—	—	—	—	

	遺跡名	所在地	報告書名	刊行者	年度	As-CT下 (AD300頃)	古墳時代 前・中期	Hr-FA下 (6 C初)	Hr-PP下 (6 C中)	古墳時代 後期	奈良・平 安時代	As-B下 (1,108)	中世	As-A下 (1,783)	近世	その他	備 考
120	冷水村東遺跡・西園分 新田遺跡	高崎市	西園分	群理文245集 冷水村東遺跡・西園分 遺跡・金子北十三町遺 跡	(財)群馬県埋蔵文化財 調査事業団	1988	—	9.83	—	—	—	55.63	—	—	—	—	Hr-FA下水田：3.029～31.380㎡、As-B下 水田：8.750～199.168㎡
121	保渡田・血掛遺跡	高崎市	保渡田	群馬町埋蔵文化財調査 報告第21集 保渡田・ 荒神前遺跡、血掛遺跡	高崎市教育委員会(群馬 町教育委員会)	1988	—	—	—	—	—	25.70	—	—	—	—	As-B下水田：3.88～87.00㎡
122	保渡田Ⅲ遺跡	高崎市	保渡田	群馬町埋蔵文化財調査 報告第7章	高崎市教育委員会(群馬 町教育委員会)	1983	—	—	○	—	—	20～40	—	—	—	—	Hr-PP下：水口状遺構検出
123	三ツ寺Ⅰ遺跡	高崎市	三ツ寺	群理文67集 三ツ寺Ⅰ遺跡	(財)群馬県埋蔵文化財 調査事業団	1988	—	—	—	—	—	50m前後	—	—	—	—	—
124	下芝五反田遺跡	高崎市	下芝	群理文250集 下芝五反田遺跡・奈 良・平安時代以降編Ⅰ	(財)群馬県埋蔵文化財 調査事業団	1999	—	—	—	—	—	52.32	39.95	—	—	—	As-B下水田：4.30～274.53㎡、中世水田： 32.01～55.68㎡
125	斉田中耕地遺跡	玉村町	斉田	群理文484集 斉田中耕地遺跡	(財)群馬県埋蔵文化財 調査事業団	2010	—	6.89	3.83	—	—	96.64	○	—	○	—	—
126	斉田中耕地遺跡(2)	玉村町	斉田	群理文571集 斉田中耕地遺跡(2)	(財)群馬県埋蔵文化財 調査事業団	2013	—	5.46	2.96	—	—	192.73	71.59	—	○	—	—
127	斉田竹之内遺跡	玉村町	斉田・福島	群理文516集 斉田竹之内遺跡	(財)群馬県埋蔵文化財 調査事業団	2011	—	—	—	—	—	80.14	—	81.90	—	—	—
128	福島飯玉遺跡	福島	福島	群理文446集 福島飯玉遺跡	(財)群馬県埋蔵文化財 調査事業団	2008	—	—	7.93	—	—	○	○	○	○	—	—
129	福島味噌袋遺跡	福島	福島	群理文612集 福島味噌袋遺跡	(公財)群馬県埋蔵文化 財調査事業団	2016	—	2.57	—	—	—	○	—	△	—	—	As-A下復旧溝
130	中道西遺跡	玉村町	上新田	中道西遺跡(第1次・ 第2次調査)	玉村町教育委員会	1996	—	—	—	—	—	58.05	—	—	—	—	As-B下水田：57.7㎡、58.4㎡の2区画の み計測可
131	福島飯塚遺跡(1)	玉村町	福島	群理文400集 福島飯塚遺跡(1)	(財)群馬県埋蔵文化財 調査事業団	2007	—	2.04	3.30	—	—	○	○	—	○	—	As-B混土層で複数の文化面
132	福島大島遺跡	福島	福島	群理文474集 福島大島遺跡	(財)群馬県埋蔵文化財 調査事業団	2009	—	1.63	3.20	—	—	○	○	○	—	—	As-A下復旧痕
133	福島久保田遺跡	福島	福島	群理文317集 福島久保田遺跡・福島 大光坊遺跡	(財)群馬県埋蔵文化財 調査事業団	2003	—	—	○	2.18	—	○	○	○	—	—	As-A下復旧痕
134	藤川前遺跡	玉村町	藤川	藤川前遺跡	玉村町教育委員会	1983	—	—	—	—	—	0.63	—	—	—	—	As-B下水田：0.20～1.11㎡、小アザに区 画されたAs-B下水田跡。
135	前通遺跡	玉村町	藤川	前通遺跡	玉村町教育委員会	2000	—	—	—	—	—	84.03	—	—	—	—	As-B下水田：計測可2区画のみ
136	横丹遺跡	玉村町	横越	横丹遺跡	玉村町教育委員会	2009	—	—	—	—	—	87.33	—	—	—	—	—
137	富岡清水遺跡・富岡城 跡	富岡市	富岡	群理文552集 富岡清水遺跡・富岡城 跡	(財)群馬県埋蔵文化財 調査事業団	2012	—	—	—	—	—	—	63.90	—	—	—	As-B下畠
138	天神遺跡	中之条町	伊勢町	福田義治「天神遺跡A 区におけるニツ居火山 灰(FA)層下の水田社の 概要」群馬文化第224号	中之条町教育委員会	1980	—	2.2～ 5.6	—	—	—	—	—	—	—	—	—
139	下川田平井遺跡	沼田市	下川田町	群理文147集 下川田下原遺跡・下川 田平井遺跡	(財)群馬県埋蔵文化財 調査事業団	1983	—	—	4.94	—	9.12	5.87	—	—	—	—	Hr-P下水田：0.416～49.293㎡、五反 田地区5.56㎡、平井地区4.02㎡、奈良・ 平安水田：3.076～49.293㎡、As-B下水 田：1.269～25.086㎡、五反田地区6.9㎡、 平井地区5.57㎡
140	白石根岸遺跡	藤岡市	白石	群理文159集 多比良平野遺跡 白石根岸遺跡	(財)群馬県埋蔵文化財 調査事業団	1994	—	—	—	—	—	19.90	—	—	—	—	As-B下水田：10.0～27.7㎡
141	荒砥北三木堂Ⅱ遺跡	前橋市	今井町	群理文421集 荒砥北三木堂Ⅱ遺跡・繩 文時代～近世編-	(財)群馬県埋蔵文化財 調査事業団	2008	○	—	—	—	—	19.11	—	—	—	—	—
142	関根細ヶ沢遺跡	前橋市	関根町	関根細ヶ沢遺跡	(財)群馬県埋蔵文化財 調査事業団	2015	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	平安時代品、中世以降のサク群
143	朝倉工業団地遺跡群	前橋市	下佐島町	朝倉工業団地遺跡群	前橋市教育委員会	2012	—	○	—	○	—	76.34	—	—	—	—	As-B下水田は1区平均、As-C層上水田は 3区
144	朝倉工業団地遺跡群 No.2	前橋市	下佐島町	朝倉工業団地遺跡群 No.2	前橋市教育委員会	2013	—	—	—	—	—	○	—	—	—	—	Hr-FA下畠跡
145	朝倉工業団地遺跡群 No.5	前橋市	下佐島町	朝倉工業団地遺跡群 No.5	前橋市教育委員会	2013	—	○	2.76	—	—	75.12	—	—	—	—	—

	遺跡名	所在地	報告書名	刊行者	年度	As-C下 (AD300頃)	古墳時代 前・中期	Hr-FA下 (6 C初)	Hr-FP下 (6 C中)	古墳時代 後期	奈良・平 安時代	As-B下 (1,108)	中世	As-A下 (1,783)	近世	その他	備 考
146	萩原遺跡	前橋市	二之宮町	群埋文337号 萩原遺跡・新井大田間 遺跡	(財)群馬県埋蔵文化財 調査事業団	2004	—	—	—	—	—	52.90	—	—	—	—	
147	荒砥諏訪西遺跡Ⅱ	前橋市	荒二町	群埋文315集 荒砥諏訪西遺跡Ⅱ・荒 砥諏訪遺跡	(財)群馬県埋蔵文化財 調査事業団	2002	—	—	—	—	—	52.06	—	—	—	—	
148	荒砥前田Ⅱ遺跡	前橋市	荒二町	群埋文472集 荒砥前田Ⅱ遺跡	(財)群馬県埋蔵文化財 調査事業団	2009	—	—	—	○	88.52	—	167.31	—	—	—	1区の数値
149	荒砥前田遺跡	前橋市	荒二町	新里村教育委員会 荒砥前田Ⅱ遺跡	前橋市教育委員会	1991	—	—	—	—	7～157	10.00	—	—	—	—	As-B下水田：計測可1区画のみ
150	荒砥北原Ⅱ遺跡	前橋市	荒二町	赤城村山麓の歴史地蔵 群埋文395集	(財)群馬県埋蔵文化財 調査事業団	2006	—	—	—	—	—	—	98.30	—	—	—	
151	柳久保遺跡群Ⅶ	前橋市	荒子町	荒砥北原Ⅱ遺跡	前橋市埋蔵文化財発掘 調査団	1988	—	—	—	—	—	135.57	—	—	—	—	As-B下水田：38.4～384.0㎡
152	石間西田Ⅲ遺跡	前橋市	石間町	石間西田遺跡Ⅲ	前橋市埋蔵文化財発掘 調査団	2007	—	—	—	—	—	61.37	—	—	—	—	
153	筑井八日市遺跡	前橋市	筑井町	群埋文170集 筑井八日市遺跡	(財)群馬県埋蔵文化財 調査事業団	1994	—	—	—	—	—	9.95	—	—	—	—	As-B下水田：3.2～30.2㎡
154	勝呂遺跡	前橋市	江田町	勝呂遺跡	前橋市教育委員会	1987	—	—	—	—	—	120前後	—	—	—	—	
155	大友宅地添遺跡	前橋市	大友町	大友宅地添遺跡	前橋市教育委員会	1989	—	—	—	—	—	74.81	—	—	—	—	As-B下水田：96.12～169.21㎡
156	上佐島中原前遺跡	前橋市	上佐島町	上佐島中原前遺跡	前橋市教育委員会	1988	—	—	—	—	—	92.79	—	—	—	—	As-B下水田：3.18～384.24㎡
157	中原遺跡群Ⅱ	前橋市	上増田町	中原遺跡群Ⅱ	前橋市埋蔵文化財発掘 調査団	1994	—	—	—	—	164.53	—	—	—	—	—	奈良・平安下水田：14.6～557.30㎡
158	中原遺跡群Ⅲ	前橋市	上増田町	中原遺跡群Ⅲ・Ⅴ・Ⅶ	前橋市教育委員会	1996	—	—	—	—	129.11	—	—	—	—	—	奈良・平安下水田：23.44～291.61㎡
159	中原遺跡群Ⅳ	前橋市	上増田町	中原遺跡群Ⅳ	前橋市教育委員会	1995	—	—	—	—	96.41	—	—	—	—	—	奈良・平安下水田：7.08～373.13㎡
160	中原遺跡群Ⅴ	前橋市	上増田町	中原遺跡群Ⅲ・Ⅴ・Ⅶ	前橋市教育委員会	1996	—	—	—	—	121.72	—	—	—	—	—	奈良・平安下水田：6.13～776.10㎡
161	中原遺跡群Ⅶ	前橋市	上増田町	中原遺跡群Ⅲ・Ⅴ・Ⅶ	前橋市教育委員会	1996	—	—	—	—	71.34	—	—	—	—	—	奈良・平安下水田：0.69～263.81㎡
162	横手湯田・横手南川端 遺跡	前橋市	龜里町 鶴光路町 横手町	横手湯田・横手南川端 遺跡	(財)群馬県埋蔵文化財 調査事業団	2002	—	3.00	11.50	—	—	157.60	200.20	40.80	—	—	
163	地蔵前遺跡	前橋市	川曲町	地蔵前遺跡	前橋市教育委員会・前 橋市埋蔵文化財発掘調 査団	1988	—	—	—	—	—	342.91	—	—	—	—	As-B下水田：254.84～423.25㎡
164	柳橋遺跡	前橋市	川曲町	柳橋遺跡	前橋市教育委員会	1994	—	—	—	—	—	167.65	—	—	—	—	As-B下水田：99.5～225.6㎡
165	川曲柳橋Ⅱ遺跡	前橋市	川曲町	川曲柳橋Ⅱ遺跡	前橋市埋蔵文化財発掘 調査団	2005	—	—	—	—	—	155.08	—	—	—	—	報告書の復元値のみ計算
166	下新田中沖Ⅱ遺跡	前橋市	下新田町	下新田中沖Ⅱ遺跡	前橋市教育委員会	1998	—	—	—	—	—	59.11	—	—	—	—	As-B下水田：5.36～174.39㎡
167	下新田中沖遺跡	前橋市	下新田町	下新田中沖遺跡	前橋市教育委員会	1998	—	—	—	—	—	46.38	—	—	—	—	As-B下水田：5.71～137.17㎡
168	下阿内宅町畑遺跡	前橋市	下阿内町	群埋文278集 下阿内宅町畑遺跡・下 阿内前田遺跡	(財)群馬県埋蔵文化財 調査事業団	2001	—	○	—	—	—	135.80	—	—	—	—	As-B下水田：21.8～327.5㎡。Hr-FA下水 田：不明瞭
169	下増田越渡Ⅲ遺跡	前橋市	下増田町	横手湯田Ⅲ遺跡・徳丸 仲田Ⅱ遺跡・西善尺司 Ⅱ遺跡・下増田越渡Ⅲ 遺跡	前橋市教育委員会	1998	—	○	—	—	○	117.66	—	—	—	—	As-B下水田：計測可1枚のみ
170	鶴光路榎橋遺跡	前橋市	鶴光路町	群埋文294集 鶴光寺榎橋遺跡	(財)群馬県埋蔵文化財 調査事業団	2002	—	—	—	—	—	169.80	—	—	—	—	
171	西田Ⅳ遺跡	前橋市	鶴光路町	西田Ⅳ遺跡	前橋市教育委員会	1999	—	—	—	—	—	109.85	—	—	—	—	As-B下水田：21.02～200.65㎡
172	西田遺跡	前橋市	鶴光路町	西田遺跡	前橋市教育委員会	1996	—	—	—	—	—	44.10	—	—	—	—	As-B下水田：計測可1区画のみ
173	西田遺跡	前橋市	鶴光路町・新 堀町	群埋文293集 西田遺跡・村中遺跡	(財)群馬県埋蔵文化財 調査事業団	2002	—	○	—	—	—	144.70	—	—	—	—	
174	村中遺跡	前橋市	鶴光路町	群埋文293集 西田遺跡・村中遺跡	(財)群馬県埋蔵文化財 調査事業団	2002	—	—	—	—	—	91.20	—	—	—	—	
175	横手湯田Ⅴ遺跡	前橋市	鶴光路町	横手湯田Ⅴ遺跡・徳丸 仲田Ⅳ遺跡	前橋市埋蔵文化財発掘 調査団	2001	—	2.45	○	—	—	○	—	—	—	—	Hr-FP下水田：畦畔状の高まりあり
176	徳丸高堰遺跡	前橋市	徳丸町	群埋文348号 徳丸高堰遺跡	(財)群馬県埋蔵文化財 調査事業団	2005	—	○	—	—	—	207.00	—	—	—	—	
177	徳丸仲田遺跡(2)	前橋市	徳丸町	群埋文311集 徳丸仲田遺跡(2)	(財)群馬県埋蔵文化財 調査事業団	2002	—	5.45	—	—	—	—	—	—	—	—	
178	富田細田遺跡	前橋市	富田町	群埋文384集 富田細田遺跡・富田宮 下遺跡	(財)群馬県埋蔵文化財 調査事業団	2006	—	—	—	—	77.80	76.70	—	—	—	—	
179	荒砥島原遺跡	前橋市	二之宮町	荒砥島原遺跡	(財)群馬県埋蔵文化財 調査事業団	1984	—	—	—	—	—	45.27	—	—	—	—	As-B下水田：最大104.23㎡、最小7.32㎡

	遺跡名	所在地	報告書名	刊行者	年度	As-C下 (AD300頃)	古墳時代 前・中期	Hr-FA下 (6 C初)	Hr-PP下 (6 C中)	古墳時代 後期	奈良・平 安時代	As-B下 (1,108)	中世	As-A下 (1,783)	近世	その他	備 考
180	荒砥大日塚遺跡	前橋市	二之宮町	群埋文178集 荒砥大日塚遺跡	(財)群馬県埋蔵文化財 調査事業団	1994	—	—	—	—	—	15.75	—	—	—	—	As-B下水田：小区域であり、特異な例 As-C下水田：3.86～35.6㎡。古墳前・中期： 3.7～44.8㎡。Hr-FA下水田：2.8～42.0㎡。 Hr-FA上水田10.53～36.4㎡。Hr-FA上水 田は3層検出されている。As-B下水田：4.2 ～32.0㎡。その他：Hr-FA～As-B間に3 面の水田跡
181	二之宮千足遺跡	前橋市	二之宮町	群埋文125集 二之宮千足遺跡	(財)群馬県埋蔵文化財 調査事業団	1982	13.56	14.44	7.97	—	—	15.09	—	—	—	○	As-B下水田：1.30～30.59㎡。As-B下水田： 0.82～169.39㎡
182	二之宮谷地遺跡	前橋市	二之宮町	群埋文162集 二之宮谷地遺跡	(財)群馬県埋蔵文化財 調査事業団	1984	—	—	—	—	—	17.00	—	—	—	—	As-B下水田：12.52～117.72㎡
183	萩原Ⅲ遺跡	前橋市	二之宮町	新井大田関Ⅱ遺跡・萩 原Ⅲ遺跡	前橋市教育委員会・前 橋市埋蔵文化財発掘調査団	1988	—	—	—	—	—	17.66	—	—	—	—	As-B下水田：108.67～138.26㎡。本文で は「面積110～140㎡(内外)」とする
184	五反田Ⅱ遺跡	前橋市	箱田町	五反田Ⅱ遺跡	前橋市教育委員会・前 橋市埋蔵文化財発掘調査団	1985	—	—	—	—	—	128.07	—	—	—	—	As-B下水田：23.39～179.726㎡
185	五反田遺跡	前橋市	箱田町	五反田遺跡	前橋市教育委員会	1987	—	—	—	—	—	94.81	—	—	—	—	—
186	南部拠点地区遺跡群 No.1	前橋市	鶴光路町	南部拠点地区遺跡群 No.1	前橋市埋蔵文化財発掘 調査団	2009	—	—	○	—	○	52.67	—	—	—	—	—
187	南部拠点地区遺跡群 No.2	前橋市	下阿内町	南部拠点地区遺跡群 No.2	前橋市埋蔵文化財発掘 調査団	2009	—	—	—	—	—	79.59	—	—	—	—	—
188	南部拠点地区遺跡群 No.4	前橋市	新堀町・鶴光 路町	南部拠点地区遺跡群 No.4	前橋市教育委員会	2010	—	—	○	—	—	158.93	—	—	—	—	—
189	南部拠点地区遺跡群 No.5	前橋市	下阿内町	南部拠点地区遺跡群 No.5	前橋市教育委員会	2010	—	—	35.84	—	—	183.95	—	—	—	—	Hr-FA下水田の区画が大きい
190	南部拠点地区遺跡群 No.6	前橋市	新堀町	南部拠点地区遺跡群 No.6	前橋市教育委員会	2011	—	—	—	—	—	49.20	—	—	—	—	—
191	南部拠点地区遺跡群 No.9	前橋市	亀里町・横手 町	南部拠点地区遺跡群 No.9	前橋市教育委員会	2014	—	—	—	—	—	60.95	—	—	—	—	—
192	南部拠点地区遺跡群 No.11	前橋市	亀里町	南部拠点地区遺跡群 No.11	前橋市教育委員会	2014	—	—	5㎡弱	—	—	○	—	—	—	—	As-C下水田：5.44～9.14㎡
193	箱田古市前Ⅰ遺跡	前橋市	箱田町	群埋文191集 箱田古市前Ⅰ・Ⅱ遺跡	(財)群馬県埋蔵文化財 調査事業団	1985	6.92	—	○	—	—	—	—	—	—	—	—
194	村前遺跡	前橋市	箱田町	村前遺跡	前橋市教育委員会・前 橋市埋蔵文化財発掘調査団	1986	—	—	—	—	—	151.67	—	—	—	—	As-B下水田：121.87～186.32㎡
195	前田遺跡	前橋市	中内町・東善 町	群埋文335集 前田遺跡	(財)群馬県埋蔵文化財 調査事業団	2004	—	—	—	—	—	40.66	—	—	—	—	—
196	稲荷遺跡	前橋市	前箱田町	稲荷遺跡	前橋市教育委員会	1997	14.68	—	—	—	—	59.56	—	—	—	—	As-C下水田：1.30～30.59㎡。As-B下水田： 0.82～169.39㎡
197	箱田境遺跡	前橋市	前箱田町	群馬県前橋市箱田境遺 跡発掘調査報告書	山武考古学研究所	1985	—	—	—	—	—	168.86	—	—	—	—	As-B下水田：89.34～295.60㎡
198	前箱田遺跡	前橋市	前箱田町	前箱田遺跡	前橋市教育委員会	1983	—	—	—	—	—	91.75	—	—	—	—	As-B下水田：23～176㎡
199	総社関泉明神北Ⅳ遺跡	前橋市	元総社町・総 社町	群埋文407集 総社関泉明神北Ⅳ遺 跡・元総社生池Ⅲ遺跡・ 元総社北Ⅲ遺跡・元総 社小見内Ⅴ遺跡	(財)群馬県埋蔵文化財 調査事業団	2007	—	1.60	1.60	—	—	—	—	—	—	—	古墳時代中期の洪水層 下面水田1、4世紀 代の品
200	元総社生池Ⅲ遺跡	前橋市	元総社町・総 社町	群埋文407集 総社関泉明神北Ⅳ遺 跡・元総社生池Ⅲ遺跡・ 元総社北Ⅲ遺跡・元総 社小見内Ⅴ遺跡	(財)群馬県埋蔵文化財 調査事業団	2007	—	—	1.30	—	—	—	—	—	—	—	—
201	元総社北Ⅲ遺跡	前橋市	元総社町・総 社町	群埋文407集 総社関泉明神北Ⅳ遺 跡・元総社生池Ⅲ遺跡・ 元総社北Ⅲ遺跡・元総 社小見内Ⅴ遺跡	(財)群馬県埋蔵文化財 調査事業団	2007	—	7.10	1.90	○	—	—	—	—	—	—	古墳時代中期はAs-C混土下面水田、FA下 水田はB区、長い縦紐のみのPP下水田、人・ コウノトリの足跡
202	元総社寺田遺跡Ⅰ	前橋市	元総社町	群埋文156集 元総社寺田遺跡Ⅰ	(財)群馬県埋蔵文化財 調査事業団	1983	22.40	7.53	6.45	—	—	—	—	—	—	—	As-C下水田：1.58～76.05㎡。古墳前・ 中期水田：計測可1枚のみ。Hr-FA下水田： 0.45～39.90㎡
203	横手南川端遺跡	前橋市	横手町	群埋文280集 横手平塚遺跡・横手宮 田遺跡・横手早稲田遺 跡・横手南川端遺跡	(財)群馬県埋蔵文化財 調査事業団	2001	—	—	3.08	○	—	○	○	—	—	—	—

	遺跡名	所在地	報告書名	刊行者	年度	As-CT下 (AD300頃)	古墳時代 前・中期	Hr-FA下 (6 C 初)	Hr-FT下 (6 C 中)	古墳時代 後期	奈良・平 安時代	As-B下 (1,108)	中世	As-A下 (1,783)	近世	その他	備 考
204	横手早稲田遺跡	前橋市 横手町	群理工280集 亀里平塚遺跡・横手宮 田遺跡・横手早稲田遺 跡・横手南川端遺跡	(財)群馬県埋蔵文化財 調査事業団	2001	—	—	○	2 m前後	—	—	103.06	○	—	—	—	As-B下水田：1区の数値参照。
205	中大門遺跡	前橋市	中大門遺跡	前橋市教育委員会	1984	—	—	—	—	—	—	190.00	—	—	—	—	計測可1枚のみ
206	六供下堂木Ⅲ遺跡	前橋市	六供下堂木Ⅲ遺跡・六 供下堂木Ⅱ遺跡	前橋市埋蔵文化財発掘 調査団	1988	—	—	—	—	—	—	40.96	—	—	—	—	As-B下水田：最大1.14～106.56㎡
207	六供下堂木Ⅴ遺跡	前橋市	六供下堂木Ⅴ遺跡	前橋市埋蔵文化財発掘 調査団	1989	—	—	—	—	—	—	33.95	—	—	—	—	As-B下水田：21.81～250.85㎡、計測可 は2区画のみ
208	六供下堂木遺跡	前橋市	六供下堂木遺跡	前橋市埋蔵文化財発掘 調査団	1997	—	—	8.83	—	—	—	16.98	—	—	—	—	Hr-A下水田：3.84～21.82㎡。As-B下水 田：計測可1区画
209	六供東京安寺遺跡	前橋市	六供東京安寺遺跡	前橋市埋蔵文化財発掘 調査団	1989	—	—	—	—	—	—	41.14	—	—	—	—	—
					遺跡総数		65	59	154	75	10	54	650	53	52	20	15
					面積データ使用遺跡数 / 遺跡総数		17/65	22/59	69/154	37/75	1/10	11/54	115/650	6/53	7/52	1/20	2/15
					平均面積		24.97	9.74	4.42	4.26	15.70	98.80	123.66	150.91	152.10	54.38	—
					最大面積		82.02	21.31	35.84	29.49	15.70	368.33	200.20	262.98	152.10	81.25	—
					最小面積		5.23	1.60	1.27	1.48	15.70	0.63	39.95	40.80	152.10	27.50	—

- 1．本表は、昭和56年から平成28年3月までの間に、群馬県内で報告された水田跡の一覧表である。
- 2．市町村は、50音順に並べた。
- 3．区画面積は、報告書の記載に従っている。平均面積が記されていない遺跡については、報告書の一覧表から、編集者が算出した。
- 4．参考文献
- ①相京建史・齊藤英敏 2002「群馬県の水田跡一覧表」、『横手南川端遺跡・横手湯田遺跡、(財)群馬県埋蔵文化財調査事業団。
- ②石塚久則 1994「平成3～5年度群馬県水田間遺跡発掘調査一覧」、『第5回東日本の水田跡を考える会—資料集—』、東日本の水田跡を考える会。
- ③能登健・小島敦子 1997「群馬県の水田・畠調査遺跡集成」、『研究紀要』16、(財)群馬県埋蔵文化財調査事業団。
- ④相京建史 1998「群馬県下水田・畠跡調査一覧表」、『第8回東日本の水田跡を考える会—資料集—』、東日本の水田跡を考える会。
- ⑤高崎市市史編さん委員会 2000「新編高崎市史 資料編2 原始古代Ⅱ」。